

# 第18回SKIF親善空手道大会 実施要綱(2)

競技規定 SKIF競技規定・審判規定・本大会申し合わせ事項とする。

## 1. 組手

予選は全て1分00秒フルタイム1本勝負(技あり2つ)

決勝は全て1分30秒1本半勝負(技あり3つ)

※蹴り技の中段・上段は、2本・3本にはなりません

しかし残心と引き足の取れた上段蹴り、投げ崩しにより

相手が防御不可能な突き蹴り技は1本に値します。

◎ 当連盟の伝統的な1本勝負です。(主審は副審を呼んで協議出来ます)

皆様のご理解をお願い致します。

◎ 副審は短笛を鳴らしながら、技あり横・1本真上(紅白の旗)表示する。

反則・抜けてる・弱い・場外・等々主審に短笛と旗でアピール出来ます。

## 反則

場外:無防備:反則(当てた技・危険技)

1回目:警告(足元を指差す)ペナルティー無し

2回目:反則注意(胸元を指差す)相手に技あり

3回目:反則(顔を指差す)相手の勝ちとなる。

顔が動くほどの技は反則とするが、スキンタッチはOKとする。

## 安全具

メンホー・胸当て・拳サポーター(白、青・赤でも可)

全員着用、男子3・4年以上はファールカップ着用

シンガード・インステップガードは任意

## 2. 型

個人:準決勝まで2名同時に競技する。

決勝は1名ずつ、すべて紅白旗判定で行う。

幼児、低学年、白帯の部は決勝まで同じ型が良い(基本型)

(※ベスト8以降自由形やりたい子は可能とする)

その他の部も予選は全て、基本型としベスト8まで

ベスト8以降は自由型(予選型は使えない)

親子団体型:決勝まで同じ型が良い(自由型)

※基本型(平安・ピンアン・ゲキサイ・タイキョク)

※基本を重視する当連盟の考えです。よろしくお願ひ致します。

### 3. 表彰

型・組手は小学生までは(3位決定戦は無し)ベスト8まで

他の種目は3位までとしパンフレット記載通り

メダル・トロフィー・表彰状授与。

最優秀選手賞1名・優秀選手賞2名を選出します。

### 4. 怪我等に関して

応急処置は行いますが、その後については主催者は

一切の責任を負いません。(選手は保険証を持参すること)

### 5. その他

幼児、低学年までは背中に道場名・名前を書いて下さい。

(縦・横20cm布)